

科 目 名		学年	
社会科学Ⅱ: Social Society Ⅱ		5MB	
教 員 名 高橋正和: TAKAHASHI Masakazu			
単位	授業時間	科目区分	授業形態
1	100分×15回	必修	講義・前期
学修単位 ○			
授業概要 国際化が進む中、他国の事情を理解する上で、宗教が持つ役割と価値についての体系的な理解なしでは済まされることが、いろんな事例からも明瞭となってきた。本講義では、キリスト教、イスラム教、仏教をはじめとする世界宗教を中心に、東アジアに大きな影響力を持った儒教と日本の精神についても考察を加え、宗教というものに対する基本的な態度がどうあるべきかを考えることにする。			
到達目標		評価方法	
(1)キリスト教についての基本的理解をもつことができる。(2)イスラム教の基本的思想を知ることができる。(3)仏教についてその歴史的発展と基本思想を理解できる。(4)宗教が果たす役割を正当に評価できる。		①中間試験(30%)。②期末試験(30%)、③レポート(20%)、④自学自習レポート(20%)によって評価する。	
学習・教育目標		(F)③④	JABEE基準1(1) (a)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	宗教とは何か	講義の概要と進め方、および評価方法とその基準について説明する。
	第2	ユダヤ教とは何か	契約思想と律法について
	第3	キリスト教とは何か(1)	福音思想と愛(アガペー)の思想について
	第4	キリスト教とは何か(2)	初期教会とパウロの伝道
	第5	宗教改革とは何か	ルターとカルヴァン
	第6	イスラム教とは何か	ウンマとイスラム法
	第7	啓示宗教について	啓典宗教の同意点と相違点
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する
	第9	初期仏教とは何か	サンガの思想
	第10	大乘仏教とは何か	菩薩・般若・極楽浄土について
	第11	中国の仏教	南伝・北伝、漢訳、天台思想について
	第12	日本の仏教	日本への伝播、南都仏教、天台・真言、鎌倉新仏教と天台本覚思想について
	第13	儒教とは何か	孔孟の思想と朱子学
	第14	尊皇攘夷とは何か	山崎闇斎学派と水戸学について
第15	宗教を考える	これまでの講義内容を踏まえて、宗教を総括し、今後を展望する。	
自学自習の内容		レポートを適宜課す。	
関連科目		倫理、日本史、世界史、現代社会	
教科書		「世界がわかる宗教社会学入門」(橋爪大三郎、ちくま文庫)	
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			